

白鷹町の バランス シート

バランスシートは、一般家庭を例に考えると、毎月の収支ではわからない住宅ローンの残額（負債）や家、車、預貯金など（資産）の状況を示すものです。町のバランスシートは、左側（借方）に将来に引き継がれる町民の財産（道路、公園、学校など）、右側（貸方）にその財産を取得するために費やしたお金を、将来の町民の負担（負債）と、これまでの世代が負担した分（正味資産）に分けて示しており、「資産＝負債＋正味資産」という形で、バランスの取れた表になっています。

バランスシート(平成22年度末版)〈要約版〉

(単位：百万円)

借方 (資金の使途)	貸方 (資金の源泉)
【資産の部】 将来に引き継がれる町民の財産	【負債の部】 将来の町民の負担分
1. 公共資産	1. 固定負債
・ 蛸川町・駐地 12,187	・ 地方債 6,773
・ 産業振興 3,165	・ 債務負担行為 0
・ 教育 10,438	・ 退職給与引当金 1,432
・ その他 2,176	固定負債合計 8,205
資産合計 27,966	2. 流動負債
2. 投資等	・ 翌年度償還予定額 1,074
・ 投資及び出資金 2,288	・ 翌年度繰上充用金 63
・ 貸付金 123	流動負債合計 1,137
・ 基金 770	負債合計 9,342
・ その他 66	
投資等合計 3,247	
3. 流動資産	【純資産の部】 これまでの世代の負担分
・ 現金・預金 1,298	・ 公共資産等整備国庫補助金 4,562
・ 未収金 18	・ 公共資産等整備一般財源等 22,173
流動資産合計 1,316	・ その他一般財源等 Δ3,557
資産合計 32,529	・ 資産評価差額 9
	純資産合計 23,187
	負債・正味資産合計 32,529

農道、道路、橋、公園、学校、公民館などの行政財産の資産評価額を目的別に示しています。

白鷹町アルカディア財団、西置賜ふるさと森林組合などの団体に対する出資金などを示しています。

ふるさと融資などの貸付金を示しています。

公共施設整備基金、土地開発基金、生涯学習推進基金などの用途が特定化されている基金（特定目的基金）を示しています。

財政調整基金、減債基金、歳計現金を示しています。

町税、貸付金などの未収金を示しています。

町債の平成22年度末残高のうち平成23年度に償還が予定されている町債元金額を「流動負債」の「翌年度償還予定額」に計上し、それ以外の町債元金額を「固定負債」に計上しています。

年度末に在職する普通会計職員全員が自己都合により退職したと仮定した場合に必要な退職手当額を示しています。

※表示単位未満を四捨五入しているため、各計数の積み上げと合計が一致しない場合があります。

(平成23年3月31日現在)

バランスシートを使った主な財務分析

財務分析の項目	白鷹町
① 現世代負担比率(%)	82.9
② 将来世代負担比率(%)	33.4
③ 純資産比率(%)	71.3
④ 歳入額対公共資産比率(%)	4.07
⑤ 町債返済可能年数(年)	3.07

バランスシートを 町民一人あたりに換算すると…

資産の額 206万4,000円	負債の額 59万3,000円
	純資産の額 147万1,000円

主な財務分析項目について

- ① 社会資本形成の世代間負担比率
社会資本整備の結果を示す有形固定資産のうち、これまでの世代によってすでに負担した分の割合
- ② 将来の世代で負担する割合(②)であり、将来負担を考えると①の方が大きいことが望まれますが、世代間の負担公平ということから見れば、②の数値が低すぎることも問題です。
- ③ 純資産比率
企業会計でいう自己資本比率にあたり、比率が高いほど財政状態が健全であるといえます。ただし、バランスシートの純資産は「これまでの世代の社会資本形成の負担額」であり、この比率が高いことがそのまま投資余力があるということにはつながりません。
- ④ 歳入額対公共資産比率
資産の合計が収入合計の何年分に該当するかを表します。
- ⑤ 町債返済可能年数
毎年の収入のうち、町債の返済に充てることが可能な金額のすべてをもって返済したと仮定した場合の返済所要年数で、年数が少ないほど財政状況が健全であるといえます。

詳しい分析資料をご覧になりたい場合は、総務課財政係(☎85-6124)まで町のホームページでも公開しています。